

県立病院チャレンジ(挑戦)プラン 2019

実施計画 (2019~2022)

平成31年3月

青森県病院局

県立病院チャレンジ(挑戦)プラン 2019 実施計画について

1 趣旨

「県立病院チャレンジ(挑戦)プラン 2019」実施計画は、「県立病院チャレンジ(挑戦)プラン 2019」の取組方策に係る具体的な取組事項等を定めたものです。

この実施計画に従い、病院局一丸となって取り組み、毎年度、取組状況を点検し、必要に応じて見直し（取組方策の追加、内容の充実等）を行いながら、着実な推進を図っていきます。

2 計画期間

2019年度から2022年度まで（「県立病院チャレンジ(挑戦)プラン 2019」の取組期間）。

3 掲載内容

「県立病院チャレンジ(挑戦)プラン 2019」の取組方策に係る具体的な取組内容と計画期間内の取組工程を記載しています。

なお、各取組事項の着実な実施を図るため、毎年度、取組実績と今後の取組計画を記載し、取組状況を明らかにしていきます。

4 推進方法

毎年度、取組状況について病院事業管理者によるヒアリングを実施し、取組の進捗状況を点検するとともに、必要に応じて見直し（取組方策の追加、内容の充実等）を行い、計画の着実な推進を図っていきます。

また、取組状況の点検・見直しに当たっては、毎年度、取組状況の取りまとめ結果を、外部有識者等で構成する「青森県立病院経営評価会議」に報告し、その意見等を踏まえながら行っていきます。

なお、各年度の取組状況等については、病院局のホームページを通じて、毎年度、公表します。

【実施計画の見方】

取組の名称(取組方策)を記載
します。

整理番号		診療科(部署)名	〇〇科(〇〇センター)	
取組方策	〇〇の導入			
取組内容	具体的な取組の内容を記載 します。			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	試行実施 検討	〇〇実施の拡大 効果の検証	取組を何年度までにやるのか、 また、それまでの取組工程を 記載します。	
計画達成状況 及び達成見込み	前年度までの取組実績と達成 状況、本年度の取組状況、次 年度以降の取組見込みを記載 します。			

目次

I 県立中央病院

A 高度・専門・政策医療の提供

1 がん対策

整理番号	取組方策	診療科・部署名		ページ
A0101	がん診療センターの充実・強化	がん診療センター	消化器内科	1
A0102	ロボット支援手術の適応拡大	がん診療センター	外科・呼吸器外科・泌尿器科	1
		特定診療部門	産婦人科	
A0103	外科組織の充実と診療の高度化	がん診療センター	外科・肝胆膵外科・乳腺外科	2
A0104	婦人科腫瘍診療の高度・専門化	特定診療部門	産婦人科	3
A0105	高精度放射線治療の充実・強化	がん診療センター	腫瘍放射線科	3
A0106	がんゲノム診療体制の構築	特定診療部門	臨床遺伝科	4
A0107	がん治療を受ける患者・家族の充実度の向上	がん診療センター	緩和医療科	5
A0108	SPARCS（苦痛のスクリーニング）の普及啓発	がん診療センター	緩和医療科	5
A0109	緩和治療・緩和ケアの効率的な提供体制の構築	がん診療センター	緩和医療科	6
A0110	がん患者のこころのケアの充実	がん診療センター	腫瘍心療科	6
A0111	がん診療に係る医療従事者の育成	がん診療センター		7

2 心筋梗塞等の心血管疾患対策

整理番号	取組方策	診療科・部署名		ページ
A0201	カテーテル治療等の整備・拡大	循環器センター	循環器科	8
A0202	心臓血管外科手術の低侵襲化	循環器センター	心臓血管外科	8

3 認知症を含む脳神経疾患対策

整理番号	取組方策	診療科・部署名		ページ
A0301	脳卒中急性期治療の充実	脳神経センター		9
A0302	神経血管内治療医の育成	中央診療部門	神経血管内治療部	9
A0303	早期認知症診療の充実	脳神経センター	脳神経内科	10

4 糖尿病対策

整理番号	取組方策	診療科・部署名		ページ
A0401	職域を超えた糖尿病地域医療連携システムの確立	糖尿病センター	内分泌内科	10

目次

5 精神疾患対策

整理番号	取組方策	診療科・部署名		ページ
A0501	メンタルケアの充実	特定診療部門	メンタルヘルス科	11
A0502	心理支援の充実	中央診療部門	臨床心理支援部	11

6 周産期医療対策

整理番号	取組方策	診療科・部署名		ページ
A0601	産科医療体制の機能強化	総合周産期母子医療センター	産科	12
A0602	新生児医療体制の機能強化	総合周産期母子医療センター	新生児科	12

7 小児医療対策

整理番号	取組方策	診療科・部署名		ページ
A0701	医療的ケア児支援体制の構築	総合周産期母子医療センター	成育科	13
A0702	小児専門医療の提供体制の強化	特定診療部門	小児科	13

8 救急医療対策

整理番号	取組方策	診療科・部署名		ページ
A0801	救急医療の広域連携	救命救急センター	救急部	14
A0802	救急医療技術の教育環境の整備	救命救急センター	救急部	14

9 災害医療対策

整理番号	取組方策	診療科・部署名		ページ
A0901	災害医療の提供体制の強化	救命救急センター	救急部	15

10 各種診療体制の強化

整理番号	取組方策	診療科・部署名		ページ
A1001	呼吸器センター構想の推進	がん診療センター	呼吸器内科	15
A1002	嚥下機能改善手術の推進	がん診療センター	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	16
A1003	口腔外科診療のレベルアップ	がん診療センター	歯科口腔外科	16
A1004	形成・再建外科の機能強化	がん診療センター	形成・再建外科	17
A1005	斜視弱視診療の充実	糖尿病センター	眼科	17
A1006	重症患者の受入の効率化	救命救急センター	集中治療部	18
A1007	高度かつ効率的な内視鏡診療の構築	中央診療部門	内視鏡部	18
A1008	手術室機能の充実・強化	中央診療部門	手術部	19
A1009	血液浄化療法室（透析室）の安全強化と災害時の機能強化	中央診療部門	血液浄化療法部	19

目次

B 良質で安全な医療サービスの提供

1 医療の質と安全性の向上

整理番号	取組方策	診療科・部署名		ページ
B0101	持続的に医療の質の向上に取り組む仕組みづくり	「医療の質」総合管理センター		20
B0102	ICTを活用したクリティカルパスの改善	クリティカルパス委員会		20
B0103	医療安全管理体制の強化	医療安全管理室		21
B0104	褥瘡対策の充実・強化	糖尿病センター	皮膚科（褥瘡対策委員会）	21
B0105	医療被ばく低減対策の強化	中央診療部門	放射線部	22
B0106	感染症診療機能の強化	感染管理室		22
B0107	医療機器の適正管理の強化	中央診療部門	臨床工学部	23
B0108	安全・安心な食事の提供	中央診療部門	栄養管理部	23
B0109	治験の適正な運営と製造販売後調査（PMS）への支援	治験管理室		24

2 健康教育（予防と健康づくり）の推進

整理番号	取組方策	診療科・部署名		ページ
B0201	健康教育活動の推進	医療連携部、健康推進室		25
B0202	HIV予防啓発の推進	がん診療センター	血液内科	25
B0203	健康増進活動の普及啓発	中央診療部門	臨床検査部	25

3 患者サービスの向上

整理番号	取組方策	診療科・部署名		ページ
B0301	医療相談体制の充実	医療連携部		26
B0302	病院ホスピタリティの向上	運営部	総務課、医事第一課	26

目次

C 地域医療支援と医療・介護との連携強化

1 入退院支援

整理番号	取組方策	診療科・部署名		ページ
C0101	療養と連携センターの設置	医療連携部		27

2 地域医療支援

整理番号	取組方策	診療科・部署名		ページ
C0201	膠原病・リウマチ診療に関する医療連携体制の構築	特定診療部門	リウマチ膠原病内科	27
C0202	運動器疾患の地域連携の強化	特定診療部門	整形外科	28
C0203	地域医療の支援体制の充実	救命救急センター	総合診療部	28
C0204	地域医療を支える読影機能の強化	中央診療部門	放射線部	29
C0205	地域医療機関の医療安全対策の推進	医療安全管理室、 感染管理室		29
C0206	地域医療・へき地医療の支援強化	運営部	経営企画室	30
C0207	あおもりメディカルネットの普及促進	医療連携部		30

3 在宅医療・介護との連携

整理番号	取組方策	診療科・部署名		ページ
C0301	医療・福祉関連機関情報データベース基盤の整備	医療連携部		31
C0302	医療・福祉関連施設との緩和ケア連携強化	がん診療センター	緩和医療科	31
		医療連携部		
C0303	地域包括ケア支援体制の構築	がん診療センター	緩和医療科	32
C0304	ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の推進	がん診療センター	緩和医療科	33
C0305	職域を超えた糖尿病地域医療連携システムの確立（再掲）	糖尿病センター	内分泌内科	33

目次

D 良質な人材の確保・育成と専門能力発揮に向けた体制構築

1 医療従事者の確保・育成と看護・コメディカル部門の充実・強化

整理番号	取組方策	診療科・部署名		ページ
D0101	人材の確保・育成	運営部	総務課	34
D0102	画像診断機能の充実・強化	中央診療部門	放射線部	34
D0103	リハビリテーション組織体制の強化	特定診療部門	リハビリテーション科	35
D0104	臨床検査の技術向上	中央診療部門	臨床検査部	35
D0105	病理診断機能の充実・強化	中央診療部門	病理部	36
D0106	細胞治療に関する幹細胞の管理体制の充実・強化	中央診療部門	輸血・細胞治療部	36
D0107	薬剤業務の機能強化	中央診療部門	薬剤部	37
D0108	栄養管理業務の充実・強化	中央診療部門	栄養管理部	37
D0109	看護体制の強化	看護部		38

2 業務の負担軽減と効率化

整理番号	取組方策	診療科・部署名		ページ
D0201	職員の業務負担軽減と労務管理	運営部	経営企画室、総務課、医事第一課	39
D0202	ICTを活用した業務負担軽減	運営部	情報管理課	39
D0203	職員が自発的かつ継続的に業務改善に取り組む仕組みづくり	「医療の質」総合管理センター		40
D0204	多職種連携による移植医療の効率化	がん診療センター	血液内科	40
D0205	臨床検査業務の効率化	中央診療部門	臨床検査部	41
D0206	滅菌業務の集約化	中央診療部門	中央材料部	41
D0207	採血業務の改善	中央診療部門	中央採血部	42
D0208	中央病院とつくしが丘病院の運営業務の一体的処理の拡大	運営部	総務課、経理課、管理課	42
D0209	情報ネットワークシステムの充実・強化	運営部	情報管理課	43

目次

E 経営基盤の強化

1 経営力の強化

整理番号	取組方策	診療科・部署名		ページ
E0101	経営マネジメントの強化	運営部	経営企画室	44
E0102	未収金対策の強化	運営部	医事第一課	44
E0103	収益確保・経費節減による経営基盤の強化	運営部	経営企画室、管理課、医事第一課	45

2 広報の推進

整理番号	取組方策	診療科・部署名		ページ
E0201	広報・情報発信の充実・強化	運営部	経営企画室	45

3 施設の効率的な管理

整理番号	取組方策	診療科・部署名		ページ
E0301	公舎等財産の利活用促進	運営部	管理課	46
E0302	施設の効果的・効率的活用の推進	運営部	管理課	46
E0303	施設の省エネ対策の推進	運営部	管理課	46

4 地域医療構想等の推進

整理番号	取組方策	診療科・部署名		ページ
E0401	地域医療構想等の推進	運営部	経営企画室	47

目次

II つくしが丘病院

F 多職種による質の高い入院医療の提供

1 医療従事者の育成

整理番号	取組方策	診療科・部署名		ページ
F0101	医療スタッフの量・質の充実	つくしが丘病院		48
F0102	専門性の高い医療従事者の育成	つくしが丘病院		48

2 安全・安心な入院医療の提供

整理番号	取組方策	診療科・部署名		ページ
F0201	医療安全対策の強化	つくしが丘病院		49
F0202	計画的退院支援の強化	つくしが丘病院		49
F0203	多職種チーム医療の推進	つくしが丘病院		50
F0204	精神科救急入院料の算定	つくしが丘病院		50

G 多職種・施設間連携による外来医療や訪問支援の展開

1 外来・在宅医療サービスの充実・強化

整理番号	取組方策	診療科・部署名		ページ
G0101	在宅支援の強化	つくしが丘病院		51
G0102	多様な精神疾患患者への対応	つくしが丘病院		52
G0103	患者及びその家族との情報共有の推進	つくしが丘病院		53
G0104	包括的支援の推進	つくしが丘病院		53

H 健全経営の推進

1 収益確保・費用節減

整理番号	取組方策	診療科・部署名		ページ
H0101	医業収益の確保	つくしが丘病院		54
H0102	費用の節減	つくしが丘病院		54

A 高度・専門・政策医療の提供

整理番号	A0101	診療科（部署）名	消化器内科（がん診療センター）		
取組方策	がん診療センターの充実・強化				
取組内容	がん診療センターにおける安全で質の高いがん治療（薬物療法）を提供するため、機能整備・役割分担等を促進する。 ア 原発不明がん及び稀少がん（肉腫等）の治療体制の強化 イ キャンサーボードの実施 ウ 支持療法及び化学療法の効率化と促進				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ア	腫瘍内科医(非常勤)の確保	腫瘍内科医(常勤1名)の確保		
	イ	キャンサーボードの実施			
	ウ	支持療法のセット化と冊子の作成	院内全科で使用		→
		化学療法に関する共通の同意書を作成	院内全科で使用		→
計画達成状況及び達成見込み					

整理番号	A0102	診療科（部署）名	外科、呼吸器外科、泌尿器科（がん診療センター） 産婦人科（特定診療部門）		
取組方策	ロボット支援手術の適応拡大				
取組内容	ロボット支援下内視鏡手術の保険適用の拡大を踏まえ、ロボット支援による術式を拡大するとともに、関係診療科によるロボット手術支援部門を設立する。				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		ロボット支援手術を行うためのトレーニング受講			→
		ロボット支援手術の術式の拡大			→
	ロボット手術部門の設立	ロボット支援手術に関する教育の実施			→
計画達成状況及び達成見込み					

整理番号	A0103	診療科（部署）名	外科、肝胆膵外科、乳腺外科（がん診療センター）			
取組方策	外科組織の充実と診療の高度化					
取組内容	<p>がん種ごとの専門性に対応するため、外科診療の高度化と最先端治療を推進する。</p> <p>ア 食道鏡視下手術の安定化と気縦隔法の導入及び胃腹腔鏡下手術の充実化 イ 大腸がんに対するハイレベル腹腔鏡下手術とバーチャル手術の適応拡大 ウ 肝胆膵がん手術における低侵襲手術の導入拡大と高度技能医取得事業の安定化 エ 乳がん術後再建の安定化と2次再建の積極的導入及び形成外科との強固な連携 オ 消化器がんに対する集学的治療成績の向上～術前化学放射線の応用 カ 遺伝性乳がん診断のカウンセリング体制の拡散と隔がん腫への適応拡大 キ 弘前大学NP0事業との連携による研修医の外科手技の安定取得と充実した研修の提供</p>					
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
	ア	食道鏡視下手術の症例集積と気縦隔法の導入				→
	イ	大腸腹腔鏡下手術の8割化とバーチャル機器の導入				→
	ウ	肝胆膵がんに対する腹腔鏡下手術への適応拡大				→
	エ	乳がん術後再建例10例と2次再建の導入				→
	オ	大腸がん術前化学療法の遠隔成績				→
	カ	遺伝性乳がん診断のカウンセリング体制の拡散				→
	キ	腹腔鏡ラボトレーニングの実施				→
計画達成状況及び達成見込み						

整理番号	A0104	診療科（部署）名	産婦人科（特定診療部門）	
取組方策	婦人科腫瘍診療の高度・専門化			
取組内容	婦人科腫瘍の診断・治療機能を充実するため、婦人科をがん診療センターに編入し、腫瘍専門医を育成する。			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	婦人科腫瘍専門医(1名)の確保	がんセンターへの編入		
	婦人科腫瘍学会専門医指定修練施設の認定取得			→
	腫瘍専門医の育成			→
計画達成状況及び達成見込み				

整理番号	A0105	診療科（部署）名	腫瘍放射線科（がん診療センター）	
取組方策	高精度放射線治療の充実・強化			
取組内容	放射線治療の精度向上を図るための放射線治療機器の更新や人員体制の強化、臨床研究の充実に取り組む。			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	放射線治療機器(Linac)の更新(1台目)	放射線治療機器(Linac)の更新(2台目)		
	常勤医学物理士(1名)の育成	医学物理士資格取得	医学物理室の設置	
	転移性骨腫瘍に対する放射線治療の適切的解析と今後の研究デザイン作成	データの取得と症例の追跡調査	学会発表	論文化
計画達成状況及び達成見込み				

整理番号	A0106	診療科（部署）名	臨床遺伝科（特定診療部門）		
取組方策	がんゲノム診療体制の構築				
取組内容	がん患者の遺伝子情報に基づく個別化医療を推進するための診療体制を構築する。 ア がんパネル検査の実施 イ ゲノム医療に関する人材育成と認知度向上に向けた教育の実施 ウ ISOの認定範囲の拡大				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ア	がんパネル検査の開始 遺伝子検査機器の導入			県民に向けた医療の還元（臨床研究の実施）
	イ	人材育成（臨床遺伝専門医） がんゲノム医療に関する教育（院内向け）	（検査担当者、認定遺伝カウンセラー）	がんゲノム医療に関する教育（県民向け）	
	ウ	ISO 15189の認定範囲拡大に向けた準備（遺伝検査、病理検査）	ISO 15189の認定拡大（遺伝検査、病理検査）	ISO 15189の認定更新	ISO 15189更新後第1回サーベイランス
計画達成状況及び達成見込み					

整理番号	A0107	診療科（部署）名	緩和医療科（がん診療センター）		
取組方策	がん治療を受ける患者・家族の充実度の評価				
取組内容	<p>がん患者のQOL（生活の質）の低下を防ぐため、がん医療が患者の生活充実度にどのように影響したかという視点で評価し、改善のためのプロセス設定等を支援する。</p> <p>ア がん治療を受ける患者・家族の生活の充実度を評価する指標の検討</p> <p>イ がん治療が患者に与える影響の実態調査等の実施</p>				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ア	がん治療を受ける患者・家族の生活の充実度の評価指標の検討			→
	イ	脊椎腫瘍患者の治療適応（整形外科・腫瘍放射線科）の実態調査			→
		骨メタキャンサーボード運用の評価			→
		緩和ケア目的の転医患者の生存期間とがん治療との関連に関する調査			→
	化学療法による味覚障害患者の実態調査と食に関する支援の検討	→			
計画達成状況及び達成見込み					

整理番号	A0108	診療科（部署）名	緩和医療科（がん診療センター）		
取組方策	SPARCS（苦痛のスクリーニング）の普及啓発				
取組内容	<p>県民がどこにいても安心・安楽に過ごせる緩和ケアの提供体制を構築するため、当院ががん患者の苦痛のスクリーニングを実施するために開発したSPARCSを普及・啓発する。</p> <p>※SPARCS：Special Project for Awareness and Relief of Cancer Symptoms</p> <p>ア がん患者の苦痛の実態調査</p> <p>イ 地域と連携した緩和ケア体制の構築</p>				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ア	痛みやつらさの実態調査			→
	イ	地域との評価ツールの統一			→
		地域連携パス緩和ケア運用開始	地域緩和ケアパス運用評価		→
	地域包括ケアシステムネットワークの運用に関する県との検討				
計画達成状況及び達成見込み					

整理番号	A0109	診療科（部署）名	緩和医療科（がん診療センター）			
取組方策	緩和治療・緩和ケアの効率的な提供体制の構築					
取組内容	がん患者・家族のQOL向上を図るため、骨関連有害事象の予防及び早期の疼痛治療並びに地域の難治症例について事例検討する緩和ケア部門がんサポートボードを行うとともに、症状緩和治療やケアを標準化したポケットマニュアルを作成する。 ア 緩和ケア部門がんサポートボードの実施 イ 緩和ケアポケットマニュアルの作成					
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
	ア	地域の難治症例に関するがんサポートボードの開始				→
		骨転移がんサポートボードの開始 対象疾患：乳がん	がんサポートボードの評価と対象疾患の拡大			
イ	ポケットマニュアル素案作成	ポケットマニュアル完成版の作成・配布			→ ポケットマニュアル改訂	
		試作版の院内での運用と評価	当院ホームページ、メディカルネット掲載			
計画達成状況及び達成見込み						

整理番号	A0110	診療科（部署）名	腫瘍心療科（がん診療センター）			
取組方策	がん患者のこころのケアの充実					
取組内容	入院患者のこころのケアの充実を図るため、リエゾンナースを中心とするリエゾンチームによる心理的サポート（回診・面接）を行う。					
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
			リエゾンナース（精神看護専門看護師）を中心とする御用聞き回診の開始			→
				公認心理士による面接に対するリエゾンチーム加算算定		
計画達成状況及び達成見込み						

整理番号	A0111	診療科（部署）名	がん診療センター		
取組方策	がん診療に係る医療従事者の育成				
取組内容	<p>都道府県がん診療連携拠点病院としての機能強化及びがん診療の向上のため、計画的にがん相談員やがん登録実務者、各種がん関連医療従事者を育成する。</p> <p>ア がん相談員 がん相談員指導者、両立支援コーディネーターの育成</p> <p>イ がん登録 院内登録実務中級認定者の育成と資格認定更新</p> <p>ウ 薬剤師 外来がん治療認定薬剤師、がん薬物療法認定薬剤師、緩和薬物療法認定薬剤師（再掲：薬剤部）</p> <p>エ 看護師 がん診療に携わる専門・認定看護師の育成（再掲：看護部）</p> <p>オ リハビリ技師 がんリハビリテーション研修（再掲：リハビリテーション科）</p> <p>カ 診療放射線技師 医学物理士（再掲：腫瘍放射線科）</p> <p>キ 医師 臨床遺伝専門医（再掲：臨床遺伝科）</p>				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ア	がん専門相談員 基礎研修(4名)	基礎研修(4名)	基礎研修(4名)	基礎研修(4名)
		両立支援コーディネーター 基礎研修(4名)	応用研修(1名)	基礎研修(1名) 応用研修(1名)	基礎研修(1名) 応用研修(1名)
	イ		院内がん登録実務中級認定者講習会(1名)	院内がん登録実務中級認定者講習会(2名)	
	ウ		外来がん治療認定薬剤師(1名)	がん薬物療法認定薬剤師(1名)	緩和薬物療法認定薬剤師(1名)
	エ	老人看護専門看護師(1名)		がん看護専門看護師(1名)	
		緩和ケア認定看護師(1名)	認知症看護認定看護師(1名)	摂食・嚥下障害看護認定看護師(1名)	がん放射線療法看護認定看護師(1名)
	オ	がんリハ(1チーム)	がんリハ(1チーム)	がんリハ(1チーム)	
カ	医学物理士(1名)				
キ	臨床遺伝専門医(2名)				
計画達成状況及び達成見込み					

整理番号	A0201	診療科（部署）名	循環器科（循環器センター）		
取組方策	カテーテル治療等の整備・拡大				
取組内容	<p>心臓疾患の治療拡大のため、ハイブリッド手術室を活用した治療を推進する。</p> <p>ア ハイブリッド手術室を活用したカテーテル治療の実施 イ 腎臓内科医の配置による腎臓疾患の治療の実施</p>				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ア	ハイブリッド手術室を活用した治療の開始（CRTDなど）	大学病院と連携したハイブリッド手術室を活用した治療の開始（TAVIなど）		→
	イ	腎臓内科医の配置による腎臓疾患の受け入れ			→
計画達成状況及び達成見込み					

整理番号	A0202	診療科（部署）名	心臓血管外科（循環器センター）		
取組方策	心臓血管外科手術の低侵襲化				
取組内容	<p>高齢患者の負担軽減や現役世代の早期職場復帰を図るため、大動脈疾患に対するステントグラフト治療をはじめ、弁膜症に対する経カテーテル弁置換や末梢血管疾患に対するカテーテル血管形成手術、小切開手術などの低侵襲手術を推進する。</p> <p>ア TAVR治療及びMitraClip治療の実施 イ 小切開手術の実施</p>				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ア	TAVR施設認定の取得	TAVR治療開始	MitraClip施設認定取得	MitraClip治療開始
	イ	小切開手術の導入	小切開手術の適応拡大		
計画達成状況及び達成見込み					

整理番号	A0301	診療科（部署）名	脳神経センター			
取組方策	脳卒中急性期治療の充実					
取組内容	24時間体制の脳血管内治療体制の充実を図るため、脳血管内治療専門医（指導医）を育成・招聘するとともに、SCU（脳卒中ケアユニット）の治療体制を安定・強化する。 ア 脳血管内治療専門医（指導医）の育成・招聘 イ 他施設との連携体制の構築 ウ 脳卒中急性期リハビリの充実					
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
	ア	脳血管内治療専門医（指導医）の育成・招聘				→
	イ	研修会・勉強会の定期的開催と他施設との連携体制の構築				→
	ウ	急性期リハビリの更なる充実				→
計画達成状況及び達成見込み						

整理番号	A0302	診療科（部署）名	神経血管内治療部（中央診療部門）		
取組方策	神経血管内治療医の育成				
取組内容	神経放射線診断学や脳卒中の診断・治療に対する知識が必要となる神経血管内治療医の育成のため、脳神経外科医師、脳神経内科医師、救命救急センター医師を対象としたトレーニングを実施する。				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		神経血管内治療医の育成			
計画達成状況及び達成見込み					

整理番号	A0303	診療科（部署）名	脳神経内科（脳神経センター）	
取組方策	早期認知症診療の充実			
取組内容	認知症の早期診断と早期介入を推進するため、地域の医療機関との患者紹介等の診療連携体制を確立するとともに、認知症ケアチームの体制を強化する。			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	認知症疾患医療センターの認定取得に向けた検討・調整			→
	臨床心理士の市内医療機関への派遣			→
	認知症ケアチームへの精神保健福祉士(1名)の配置検討(再掲)			
計画達成状況及び達成見込み				

整理番号	A0401	診療科（部署）名	内分泌内科（糖尿病センター）	
取組方策	職域を超えた糖尿病地域医療連携システムの確立			
取組内容	介護の要因（脳血管障害、認知症、フレイルなど）には、糖尿病が深く関わっていることから、介護現場における糖尿病の過小評価による被介護者の臨床転帰の悪化を防ぐため、地域ケアセンター・介護サービスとの職域を超えた人材育成や情報共有などを促進する地域医療連携システムを構築する。			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	日本糖尿病協会、青森医師会などへの働きかけ	介護職を対象とした研修会の開催	研修終了者による報告会の開催	高齢者糖尿病に関わる地域医療連携システムの確立
計画達成状況及び達成見込み				

整理番号	A0501	診療科（部署）名	メンタルヘルス科（特定診療部門）	
取組方策	メンタルケアの充実			
取組内容	精神疾患を伴う妊産褥婦及び認知症症例に対するメンタルケアの向上のため、周産期サポートチーム及び認知症ケアチームの体制を強化する。			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	精神保健福祉士(2名)の配置検討			
計画達成状況及び達成見込み				

整理番号	A0502	診療科（部署）名	臨床心理支援部（中央診療部門）	
取組方策	心理支援の充実			
取組内容	希死念慮を有する患者又は自殺企図後の患者への心理支援体制を充実し、自死遺族へのこころのケア体制を構築する。			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		自殺企図後患者への心理職による早期介入のシステムの確立 自死遺族へのこころのケア体制の確立	希死念慮のスクリーニング方法の確立	希死念慮の強い患者への心理職による早期介入のシステムの確立
計画達成状況及び達成見込み				

整理番号	A0601	診療科（部署）名	産科（総合周産期母子医療センター）		
取組方策	産科医療体制の機能強化				
取組内容	<p>ハイリスク妊産婦に対する高度な周産期医療を提供するため、産科医療スタッフの技術向上など人材育成に取り組むとともに、医療機器の計画的な更新を進める。</p> <p>ア 医療機器の計画的更新 イ 産科医療スタッフの技術向上 ウ 周産期に関わる医療スタッフの充実・強化</p>				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ア	医療機器更新計画に基づく更新			
	イ	母体救命コース開催	母体救命コース開催及びインストラクター養成		
	ウ	新生児蘇生法Aコース・Sコース開催及びインストラクター養成			
計画達成状況及び達成見込み					

整理番号	A0602	診療科（部署）名	新生児科（総合周産期母子医療センター）		
取組方策	新生児医療体制の機能強化				
取組内容	<p>ハイリスク新生児の治療管理体制を維持・強化するため、多職種連携体制の強化や医療機器の計画的な更新を進めるとともに、セキュリティ体制を強化する。</p> <p>ア 医療機器の計画的更新 イ NICUにおけるセキュリティ等の環境整備 ウ コメディカルの充実等</p>				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ア	医療機器更新計画に基づく更新			
	イ	セキュリティ体制の強化			
	ウ	医療機器・物品の安全管理			
年度別計画		看護士の専門性の向上	母乳育児支援基礎セミナー、IBCLC研修、新生児集中ケア認定看護師研修への参加		
		臨床検査技師による業務支援			
年度別計画		入退院支援コーディネーター（周産期サポート兼務）の配置検討			
	計画達成状況及び達成見込み				

整理番号	A0701	診療科（部署）名	成育科（総合周産期母子医療センター）		
取組方策	医療的ケア児支援体制の構築				
取組内容	<p>NICU退院後も引き続き医療的ケアが必要な障害児（医療的ケア児）に対して適切な医療的支援を行うため、成育科の体制を強化するとともに、県や地域の医療・福祉機関との連携・支援体制を検討する。</p> <p>ア 成育科の体制強化 イ あすなろ療育福祉センターに対するバックアップ支援 ウ 医療的ケア児支援体制の検討</p>				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ア	成育科医師(1名)の確保			
	イ	あすなろ療育福祉センターへの医師派遣			→
	ウ	医療的ケア児支援体制の検討			→
		県の医療的ケア児支援体制検討部会への参加			→
計画達成状況及び達成見込み					

整理番号	A0702	診療科（部署）名	小児科（特定診療部門）		
取組方策	小児専門医療の提供体制の強化				
取組内容	<p>地域の医療機関では対応が困難な小児患者に対し、高度な小児専門医療を提供するため、小児科領域の専門医を確保する。</p>				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		小児神経をはじめとする小児科領域専門医の確保			→
計画達成状況及び達成見込み					

整理番号	A0801	診療科（部署）名	救急部（救命救急センター）	
取組方策	救急医療の広域連携			
取組内容	県内の救急医療体制を強化するため、救命専門医研修プログラムにおける研修医療機関が連携して救急医を派遣する体制を構築するとともに、救急医療の担い手確保に向けた広域研修プログラムとして確立する。			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	連絡会議の開催	医師のローテーション開始		→
	※救急医療体制が脆弱な津軽・西北五地域を対象として実施	広域プログラムの宣伝		→
計画達成状況及び達成見込み				

整理番号	A0802	診療科（部署）名	救急部（救命救急センター）	
取組方策	救急医療技術の教育環境の整備			
取組内容	研修医や新人看護師などの医療技術の向上を図るため、中央病院が保有する研修機材を有効活用し、スキルズラボなどの教育環境を整備する。			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	スキルズラボの設置	スキルズラボを活用した研修の実施		→
	研修計画の作成			
計画達成状況及び達成見込み				

整理番号	A0901	診療科（部署）名	救急部（救命救急センター）		
取組方策	災害医療の提供体制の強化				
取組内容	<p>基幹災害拠点病院及び原子力災害拠点病院として、災害発生時の医療提供体制を強化するとともに、災害発生時に迅速に対応できるように訓練や研修等を実施する。</p> <p>ア 大規模災害の発生を想定した研修・訓練の実施</p> <p>イ 原子力災害発生時における被ばく傷病者の受入体制の強化</p>				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ア	被災地支援及び当院BCPに基づく研修・訓練の実施			→
	イ	原子力災害発生時の専用除染設備の整備			
		原子力医療派遣チームの育成			→
計画達成状況及び達成見込み					

整理番号	A1001	診療科（部署）名	呼吸器内科（がん診療センター）		
取組方策	呼吸器センター構想の推進				
取組内容	<p>肺がん患者、ぜん息などのアレルギー疾患患者、高齢化に伴う肺炎などの重症呼吸器疾患患者の増加に対応するため、呼吸器内科、呼吸器外科、呼吸器内視鏡部門及び救急部門が円滑に連携するための体制を構築する。</p> <p>ア 呼吸器外来の拡充</p> <p>イ 呼吸器内視鏡システムの拡充</p> <p>ウ 重症呼吸器疾患の受入体制の構築</p>				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ア	専門外来（ぜん息、在宅酸素療法）、化学療法外来の開設			→
	イ	呼吸器内視鏡検査の拡充（週2回から週3回）			→
		呼吸不全を伴う重症呼吸器疾患の受入体制の構築			→
計画達成状況及び達成見込み					

整理番号	A1002	診療科（部署）名	耳鼻咽喉科・頭頸部外科（がん診療センター）		
取組方策	嚥下機能改善手術の推進				
取組内容	<p>高齢化の推進に伴い増加している嚥下障害の改善を推進するため、嚥下障害患者を診療する地域の医療機関に対して、中央病院が持つ嚥下機能改善手術に関する情報を提供し、地域の医療機関との連携を強化する。</p> <p>ア 嚥下障害患者を診療する地域の医療機関を対象とした嚥下機能改善手術の啓発 イ 地域の医療機関との連携体制の構築 ウ 嚥下機能改善手術の推進</p>				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ア	嚥下機能改善手術の第一人者による講演会の開催			→
	イ	地域の医療機関との定期的なミーティングの開催			→
	ウ	嚥下機能改善手術の実施			→
計画達成状況及び達成見込み					

整理番号	A1003	診療科（部署）名	歯科口腔外科（がん診療センター）		
取組方策	口腔外科診療のレベルアップ				
取組内容	<p>口腔外科学会の認定研修施設として、口腔外科疾患の診療及び周術期口腔機能管理などの中心的役割を担うため、関連医療機関との連携を強化し、患者の確保と口腔外科診療のレベルアップを図る。</p>				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		岩手医科大学との人事交流による歯科医師確保			→
		岩手医科大学、八戸赤十字病院、むつ総合病院、函館協会病院との連携強化			→
計画達成状況及び達成見込み					

整理番号	A1004	診療科（部署）名	形成・再建外科（がん診療センター）	
取組方策	形成・再建外科の機能強化			
取組内容	患者QOLの向上のため、各診療科と連携し、患者ニーズに応じた形成外科手術を推進するとともに、形成外科医の確保・育成を図るため、形成外科学会の教育関連施設及び認定施設の認定を取得する。			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	形成外科学会教育関連施設の認定取得 (平成30年度までに) 入院手術又は全麻手術 80例/年		入院手術又は全麻手術 150例/年	形成外科学会認定施設の認定取得
計画達成状況及び達成見込み				

整理番号	A1005	診療科（部署）名	眼科（糖尿病センター）	
取組方策	斜視弱視診療の充実			
取組内容	斜視弱視診療の充実を図るため、診療に加え視能訓練を実施する。			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	斜視弱視患者に対する視能訓練実施について検討	視能訓練実施 視能訓練士の技術向上		
計画達成状況及び達成見込み				

整理番号	A1006	診療科（部署）名	集中治療部（救命救急センター）	
取組方策	重症患者の受入の効率化			
取組内容	重症患者に対して効率的かつ集中的な治療を行うため、ICU（集中治療室）をより有効に活用する方法を検討するとともに、HCU（高度治療室）の必要性について検討する。			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ICU利用促進の検討及び対策の実施			→
	HCUの必要性の検討			→
計画達成状況及び達成見込み				

整理番号	A1007	診療科（部署）名	内視鏡部（中央診療部門）	
取組方策	高度かつ効率的な内視鏡診療体制の構築			
取組内容	内視鏡診療の件数増加や緊急内視鏡に対応するため、関連する診療科と連携を図りながら、診療体制の充実に取り組む。			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	医療事務作業補助者（1名）の配置検討	看護師（2名）の配置検討		
	内視鏡設備の計画的整備			→
計画達成状況及び達成見込み				

整理番号	A1008	診療科（部署）名	手術部（中央診療部門）	
取組方策	手術室機能の充実・強化			
取組内容	県全域を対象とした高度で専門的な手術医療に対応するため、全身麻酔枠の拡大に取り組むとともに、手術関連機器の適正管理に向けた体制を強化する。			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	全身麻酔枠の拡大 (麻酔科応援医師確保)	(麻酔科常勤医師1名確保)	(麻酔科応援医師確保)	→
	臨床工学技士の手術室 配置			→
計画達成状況 及び達成見込み				

整理番号	A1009	診療科（部署）名	血液浄化療法部（中央診療部門）	
取組方策	血液浄化療法室（透析室）の安全強化と災害時の機能強化			
取組内容	<p>安全な透析環境を構築するため、スタッフ教育を充実するとともに、災害発生時の透析機能を維持するため、透析室の機械・設備の免震化などの対策や災害発生時の透析患者受け入れに係る地域の医療機関（透析クリニック）との連携体制（役割分担）の構築に取り組む。</p> <p>ア 看護師及び臨床工学技士の教育環境の整備 イ 災害発生時の医療機関（透析クリニック）との連携体制構築 ウ 透析関係設備の免震化対策</p>			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ア 看護師、臨床工学技士の透析関係のセミナーや学会への派遣			→
	イ 東青地域における透析災害情報ネットワークの構築とEMISの啓蒙活動	東青地域以外における透析災害情報ネットワークの構築とEMISの啓蒙活動		→
ウ	透析室への災害時無線電話の設置	RO装置への免震ダンパーの設置		
計画達成状況 及び達成見込み				

B 良質で安全な医療サービスの提供

整理番号	B0101	診療科（部署）名	「医療の質」総合管理センター		
取組方策	持続的に医療の質の向上に取り組む仕組みづくり				
取組内容	多職種・多部門によるリンクスタッフの組織化など、自律的かつ持続的に医療の質向上に取り組む組織体制や仕組みを整備する。				
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
	臨床指標（QI）の活用				→
	質改善（QC）活動の支援				→
	医療の質に関する自主点検の実施				→
	満足度調査の実施				→
	リンクスタッフの組織化	リンクスタッフによる活用強化と支援			→
計画達成状況及び達成見込み					

整理番号	B0102	診療科（部署）名	クリティカルパス委員会		
取組方策	ICTを活用したクリティカルパスの改善				
取組内容	入院中における検査・手術・リハビリなどの予定を示した入院診療計画書（クリティカルパス）をより利用しやすいものに改善するため、ICTを活用した分析手法を確立する。 ア 分析手法の確立と分析に基づく改善 イ 分析体制の強化				
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
	医療用パスの再整備	分析に基づく新規パスの充実			→
	パス分析手法の確立				
	専門家（院内パスコーディネーター）の育成				→
	患者用パスのICT化	パス医療における患者ニーズへの対応			→
計画達成状況及び達成見込み					

整理番号	B0103	診療科（部署）名	医療安全管理室			
取組方策	医療安全管理体制の強化					
取組内容	<p>院内で発生しているインシデント等に適切に対応するため、医療安全管理室による分析・指導体制や院内の職員を対象とした医療安全に関する研修等を強化する。</p> <p>ア インシデント等の分析・指導の強化 イ 医療安全管理室の人材育成 ウ リスクマネージャーの育成と院内の職員を対象とした研修内容の見直し</p>					
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
	ア	インシデント報告の推進と医療安全管理室の分析力向上				→
		ラウンドの強化とカンファレンスへの参加	(インシデント等の課題抽出と要因分析)			
	イ	医療安全管理室職員の計画的な人員配置と育成				→
		医療事故や予期しない死亡に対応する人材の育成				→
	ウ	リスクマネージャーの育成(病棟看護師長など部署長を対象)				→
全職員対象の研修内容及び方法の見直し(研修機材の活用)					→	
計画達成状況及び達成見込み						

整理番号	B0104	診療科（部署）名	皮膚科（糖尿病センター） 褥瘡対策委員会			
取組方策	褥瘡対策の充実・強化					
取組内容	<p>入院患者の褥瘡の発生を防ぐため、多職種連携による褥瘡対策を検討し、急性期から慢性期までのあらゆる褥瘡ケアのニーズに対応できる質の高いケアを提供する。</p> <p>ア 体圧分散寝具の計画的な整備 イ 皮膚・排泄ケア認定看護師の育成（2名→4名体制）</p>					
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
	ア	体圧分散寝具(ウレタンマットレス、除圧クッション)の整備				→
イ	皮膚・排泄ケア認定看護師の育成(1名)	病棟専任配置	→	皮膚・排泄ケア認定看護師の育成(1名)	病棟専任配置	→
計画達成状況及び達成見込み						

整理番号	B0105	診療科（部署）名	放射線部（中央診療部門）	
取組方策	医療被ばく低減対策の強化			
取組内容	放射線診療等における医療被ばくを低減するため、被ばく管理システムの構築など体制を強化する。			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	被ばく管理システムの構築			→
計画達成状況及び達成見込み				

整理番号	B0106	診療科（部署）名	感染管理室	
取組方策	感染症診療機能の強化			
取組内容	第一種感染症指定医療機関として、質の高い感染症診療を実践するため、感染症専門医を育成し、感染症科を設置する。			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	感染症専門医の育成	→		
	感染症診療支援	感染症科新設準備	感染症科新設	
計画達成状況及び達成見込み	→			

整理番号	B0107	診療科（部署）名	臨床工学部（中央診療部門）			
取組方策	医療機器の適正管理の強化					
取組内容	<p>医療機器の安全確保と効率的な運用のため、臨床工学部の組織体制を維持・強化するとともに、点検治具を用いた医療機器の点検及び医療機器の適正使用に向けた研修会を行う。</p> <p>ア 医療機器の管理体制の強化 イ 医療機器の保守点検作業の効率化 ウ 医療機器の適正使用に向けた研修会の開催</p>					
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
	ア	臨床工学技士の増員 (1名欠員補充)				→
		臨床工学技士の専門性 向上に向けた研修会への 参加				→
	イ	点検治具を用いた機器 点検の実施(電気メス チェッカー)				→
		ウ	院内職員向けの研修会 の開催			
計画達成状況 及び達成見込み						

整理番号	B0108	診療科（部署）名	栄養管理部（中央診療部門）			
取組方策	安全・安心な食事の提供					
取組内容	<p>安全・安心な食事の提供を継続するため、衛生管理の徹底を中心に業務手順、人員配置、作業動線、機器配置の見直しなど給食提供のあり方を検討する。</p>					
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
		部内及び作業チームに よる検討				→
		衛生管理に関する研修 会の開催				→
		先進施設・事例や最新 機器等の視察・見学				→
計画達成状況 及び達成見込み						

整理番号	B0109	診療科（部署）名	治験管理室		
取組方策	治験の適正な運営と製造販売後調査（PMS）への支援				
取組内容	<p>治験の質の向上と円滑な治験の実施のため、治験管理体制を強化するとともに、製造販売後調査（PMS）の適正実施に向け、契約処理等による支援を行う。</p> <p>ア 治験実施の支援 イ 治験管理室の機能強化 ウ 治験業務の質の向上 エ 治験に関する普及啓発活動 オ 製造販売後調査（PMS）の契約・経費処理支援</p>				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ア	実施件数(25件以上/年) 目標収益(1億円以上) 実施率(75%以上)			
	イ	CRC配置検討(1名) 薬剤師配置検討(0.5名)	CRC配置検討(1名)	CRC配置検討(1名)	
	ウ	機器(治験薬保温庫、冷蔵庫等)の更新			
	エ	CRC業務の普及啓発活動(院内IPEへの参加、研修会の企画)			
	オ	製造販売後調査(PMS)の契約・経費処理に対する支援			
計画達成状況及び達成見込み					

整理番号	B0201	診療科（部署）名	医療連携部 健康支援室	
取組方策	健康教育活動の推進			
取組内容	がん・生活習慣病などの予防を促進するため、中央病院で実施している小学校、中学校、高等学校の児童生徒に対する健康教育活動を集約し、関係機関（県、市町村、教育委員会、各学校等）との協働による取組を推進する。			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	学校教育事務の集約 （窓口の設置）			
	関係機関によるワーク ショップの開催			→
	メディコトリムの推進			→
計画達成状況 及び達成見込み				

整理番号	B0202	診療科（部署）名	血液内科（がん診療センター）	
取組方策	HIV予防啓発の推進			
取組内容	HIVの予防啓発のため、県健康福祉部及び教育委員会等と連携し、高校生を対象とした啓発活動を推進する。			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	県立高校での予防啓発		→ 私立高校への拡充	評価・検討
計画達成状況 及び達成見込み				

整理番号	B0203	診療科（部署）名	臨床検査部（中央診療部門）	
取組方策	健康増進活動の普及啓発			
取組内容	中央病院が持つ医療資源（臨床検査機器や検査技能等）を有効活用し、県民の健康増進活動等の促進に向けた普及啓発（体験セミナー）を行う。			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	啓発活動の実施			→
計画達成状況 及び達成見込み				

整理番号	B0301	診療科（部署）名	医療連携部		
取組方策	医療相談体制の充実				
取組内容	<p>がん患者・家族に対する相談体制を充実するため、がん相談支援センターにおける相談事例の広報・周知などによる利用促進に取り組むとともに、がん患者・経験者等による相談支援（ピアサポート）の推進を図る。</p> <p>ア がん相談支援センターの利用促進 イ がん患者・経験者等による相談支援（ピアサポート）の推進</p>				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ア	がん相談支援センターの相談アクセス方法の広報周知 がん相談記録の相談事例集の作成	事例集の県内医療機関への配布、ホームページで公開	がん専門相談員（専従非常勤1名）の配置検討	がん診療連携協議会相談支援部会で報告し、がん相談支援センターのアクセシビリティについて提案
	イ	ピアサポーターによる院外がんサロンの開催（年3回）	認定がん医療ネットワークナビゲーター研修受講（ピア・サポーター2名、がん専門相談員2名）	認定がん医療ネットワークシニアナビゲーター研修（がん専門相談員2名） ピア・サポーターによる出張相談開始	ピア・サポーターによる患者支援のあり方の提案
計画達成状況及び達成見込み					

整理番号	B0302	診療科（部署）名	運営部（総務課・医事第一課）		
取組方策	病院ホスピタリティの向上				
取組内容	患者満足度の向上を図るため、病院ボランティア活動、院内イベント活動の充実や職員の接客向上など、充実した療養環境や質の高いサービスを提供する。				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		ボランティアの有効活用			→
		院内イベント活動の充実			→
		受付職員等を対象とした接客研修及びトラブル対応研修の実施			→
		患者ニーズの把握及び相談体制の充実			→
計画達成状況及び達成見込み					

C 地域医療支援と医療・介護との連携強化

整理番号	C0101	診療科（部署）名	医療連携部	
取組方策	療養と連携センターの設置			
取組内容	<p>入院治療を受ける患者・家族が不安なく入院生活を送り、退院後も安心して療養できる環境を提供するため、「療養と連携センター」を設置し、療養サポーター（担当看護師）による、入院前から退院後の療養生活までを見据えた、適切なタイミングでの退院や地域への橋渡しのマネジメントを行う。</p> <p>また、療養サポーターによる各種説明、同意取得等の業務や患者情報の集約と共有により、入院に関連した診療業務や看護業務の負担軽減を図る。</p>			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	療養と連携センター開設	開設後の効果検証 【評価指標】 (1)療養支援の必要度が高い患者・家族に対する療養サポーターによるマネジメントの実施 (2)患者・家族による療養支援の内容と満足度調査 (3)入退院などに伴う病棟看護業務の軽減効果		地域の医療・福祉ネットワークを含めた医療連携部門の組織のあり方の提案
	療養と連携センターの広報周知			→
	療養サポーター(25名)の確保・育成			→
計画達成状況及び達成見込み	※療養サポーターは院内の配置替えでの対応を基本とするが、看護師(2名)の新規配置を検討			

整理番号	C0201	診療科（部署）名	リウマチ膠原病内科（特定診療部門）	
取組方策	膠原病・リウマチ診療に関する医療連携体制の構築			
取組内容	<p>膠原病・リウマチ医療を保健・医療・福祉包括ケアシステムに組み込んでいくため、院内の連携を推進しながら、地域連携へと繋げるシステムを構築する。</p>			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	医療機関同士の症例検討会、情報交換会、研究会の開催			→
	院内勉強会の開催			→
計画達成状況及び達成見込み				

整理番号	C0202	診療科（部署）名	整形外科（特定診療部門）	
取組方策	運動器疾患の地域連携の強化			
取組内容	大腿骨頸部骨折に始まった地域連携システムを他の運動器疾患に拡大し、地域医療との連携を強化するため、連携可能な医療機関の確保・育成に取り組みます。			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	理学療法士、作業療法士の育成支援による連携病院の拡大			→
	連携疾患の拡大 (下肢骨折、圧迫骨折など長期入院が必要な外傷)	(頸髄症、広範脊椎管狭窄など長期入院・専門治療が必要な疾患)	(スポーツ外傷、障害など長期・専門的リハビリを要する疾患群)	→
計画達成状況及び達成見込み				

整理番号	C0203	診療科（部署）名	総合診療部（救命救急センター）	
取組方策	地域医療の支援体制の充実			
取組内容	地域医療の環境改善と充実を図るため、医師派遣による診療支援や総合診療医の知識・技術向上に対する支援を行うとともに、地域医療を支える人材を育成する。 ア 1人診療所や医師の少ない病院等への支援 イ 総合診療医及びかかりつけ医ネットワークの確立 ウ 病院総合医（ホスピタリスト）の育成			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ア 総合診療医の確保（1名） 支援業務の実施			→
	イ 総合診療を行う地域の医師・開業医のリスト作成	総合診療医及びかかりつけ医のフォーラム・勉強会の開催	ネットワークの確立	→
ウ 病院総合医育成プログラムに関する研修や視察の実施	病院総合医育成プログラムの確立	病院総合医の育成（年1名）	病院総合医の育成（年2名程度）	
計画達成状況及び達成見込み				

整理番号	C0204	診療科（部署）名	放射線部（中央診療部門）		
取組方策	地域医療を支える読影機能の強化				
取組内容	<p>地域医療情報共有システムと医用画像情報基盤を活用し、地域における効率的な情報管理と効果的な診断支援を行う。</p> <p>ア 医療機器の共同利用の促進 イ 画像診断体制の強化 ウ 放射線技師の育成と合理化</p>				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ア	医療機器の共同利用の促進			
	イ	自宅読影環境の検討・整備 中央病院とつくしが丘病院でのサポート体制の構築	つくしが丘病院の電子画像保存		
	ウ	災害対応への人材育成			
計画達成状況及び達成見込み					

整理番号	C0205	診療科（部署）名	医療安全管理室 感染管理室		
取組方策	地域医療機関の医療安全対策の推進				
取組内容	<p>地域医療機関における医療安全や感染対策の向上を図るため、医療機関との連携を強化する。</p> <p>ア 地域医療機関の医療の安全性向上に向けた支援（相互ラウンドの実施） イ 地域医療機関の感染対策の向上に向けた支援（教育・啓発活動）</p>				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ア	地域医療機関との協議会や相互ラウンドの実施			→
	イ	看護師（1名）の配置検討 感染管理に関わる資格を有する薬剤師・臨床検査技師（各1名）の配置検討	感染管理認定看護師育成 院内職員及び院外職員の教育プログラム立案	感染管理認定看護師専従配置 教育プログラムの実施	
計画達成状況及び達成見込み					

整理番号	C0206	診療科（部署）名	運営部経営企画室	
取組方策	地域医療・へき地医療の支援強化			
取組内容	地域医療・へき地医療の維持・強化を図るため、自治医科大学卒業医師の効率的な配置を行うとともに、中央病院の医師による診療応援を実施する。			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	自治医科大学卒業医師の効率的な配置			→
	配置医療機関の集約化			→
	診療応援の実施			→
計画達成状況及び達成見込み				

整理番号	C0207	診療科（部署）名	医療連携部	
取組方策	あおりメディカルネットの普及促進			
取組内容	地域の医療機関における医療情報の共有ツールである「あおりメディカルネット」の利用を促進するため、関係機関と協力しながら医療機関や患者への更なる普及・啓発に取り組む。			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	メディカルネットの普及・啓発 (患者同意700件)	(患者同意800件)	(患者同意900件)	(患者同意1000件) →
計画達成状況及び達成見込み				

整理番号	C0301	診療科（部署）名	医療連携部	
取組方策	医療・福祉関連機関情報データベース基盤の整備			
取組内容	患者が住み慣れた地域で、医療・介護サービスが受けられる地域完結型の医療提供体制を構築するため、県との連携・協力のうえ、県内の基幹病院と地域の医療機関や在宅療養・介護施設との円滑な連携に必要な情報の集約化を図る。			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	(仮称)医療連携データベースの構築・見直し			→
	データベースの利用促進と連携推進に向けた研修会の開催			→
計画達成状況及び達成見込み				

整理番号	C0302	診療科（部署）名	緩和医療科（がん診療センター） 医療連携部	
取組方策	医療・福祉関連施設との緩和ケア連携強化			
取組内容	地域完結型の医療提供体制を構築するため、県内の基幹病院と地域の医療機関や在宅療養・介護施設との緩和ケア等に関する円滑な連携を図る。			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	(仮称)医療連携データベースの活用	(在宅緩和ケアマップの作成・更新など)		→
	Web検索機能の構築			→
		連携に向けた課題と支援の検討(協議会の設置)		→
計画達成状況及び達成見込み				

整理番号	C0303	診療科（部署）名	緩和医療科（がん診療センター）		
取組方策	地域包括ケア支援体制の構築				
取組内容	<p>地域完結型の医療を提供するため、県の基幹病院として、看取り支援等の地域包括ケアの支援体制を構築する。</p> <p>ア 地域内看取り支援制度の構築 イ 看護師のアウトリーチによる在宅・介護施設に対する臨床支援や教育支援体制の構築 ウ 在宅・介護施設における遠隔診療支援体制の構築</p>				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ア	看取り支援制度の実施・評価			
	イ	青森市の医療機関・介護施設への教育支援の企画・運営・評価			全県的な支援への拡大検討
		地域への臨床支援の運営・評価			
ウ	ニーズのある医療圏における遠隔診療支援の実施	遠隔診療支援地域との協議会設置			
計画達成状況及び達成見込み					

整理番号	C0304	診療科（部署）名	緩和医療科（がん診療センター）		
取組方策	ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の推進				
取組内容	<p>患者・家族の意思を尊重した医療の提供を推進するため、患者・家族が治療後の生活について考えながら治療を進められる体制の構築やACP（将来の意思決定能力の低下に備えて、患者や家族とケア全体の目標や具体的な治療・療養について話し合うコミュニケーションプロセス。）のスキル向上に取り組む。</p> <p>ア 地域完結型の緩和ケアの実施 イ 緩和ケアやACPのスキル向上 ウ 患者の痛みやACPを院内で情報共有できる体制づくり</p>				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ア	地域医療者・介護関係者との症例検討会の開催(年2回)			
	イ	ACP研修会の開催(年1回)			
		がん診療医師を対象とした緩和ケア研修会の開催(年1回)			
		ELNEC-J研修会の受講			
	ウ	ACPを共有できる体制づくり			
患者の痛みを医療者間で共有できる記録の整備					
計画達成状況及び達成見込み					

整理番号	C0305	診療科（部署）名	内分泌内科（糖尿病センター）		
取組方策	職域を超えた糖尿病地域医療連携システムの確立（再掲）				
取組内容	<p>介護の要因（脳血管障害、認知症、フレイルなど）には、糖尿病が深く関わっていることから、介護現場における糖尿病の過小評価による被介護者の臨床転帰の悪化を防ぐため、地域ケアセンター・介護サービスとの職域を超えた人材育成や情報共有などを促進する地域医療連携システムを構築する。</p>				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		日本糖尿病協会、青森医師会などへの働きかけ	介護職を対象とした研修会の開催	研修終了者による報告会の開催	高齢者糖尿病に関わる地域医療連携システムの確立
計画達成状況及び達成見込み					

D 良質な人材の確保・育成と専門能力発揮に向けた体制構築

整理番号	D0101	診療科（部署）名	運営部総務課	
取組方策	人材の確保・育成			
取組内容	高度医療・専門医療・救急医療・地域医療支援等、県立病院として求められる医療機能を安定的に提供するため、医師・看護師・医療技術員等の確保・育成に取り組む。			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	医師・看護師・医療技術員等の確保			→
	医師・看護師・医療技術員等のスキルアップ			→
計画達成状況及び達成見込み				

整理番号	D0102	診療科（部署）名	放射線部（中央診療部）	
取組方策	画像診断機能の充実・強化			
取組内容	都道府県がん診療連携拠点病院としての診療機能の維持・強化を図るため、画像診断機器の更新・増設及び人材の確保・育成を行う。			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	画像診断機器の計画的整備			→
	放射線技師(1名)の配置検討	読影医師(1名)の確保		
計画達成状況及び達成見込み				

整理番号	D0103	診療科（部署）名	リハビリテーション科（特定診療部門）	
取組方策	リハビリテーション組織体制の強化			
取組内容	患者の早期自立・社会復帰を図るため、リハビリテーション技師の育成や病棟への配置により、365日リハビリテーションや急性期リハビリテーションを提供できる体制を構築する。			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	理学療法士(2名) 作業療法士(1名) の配置検討	理学療法士(1名) 作業療法士(1名) 言語聴覚士(1名) の配置検討	理学療法士(1名) 作業療法士(1名) の配置検討	理学療法士(1名) 作業療法士(1名) 言語聴覚士(1名) の配置検討
	土・祝祭日リハビリの実施			365日リハビリの実施
	病棟配置に向けた人材育成			脳神経外科・脳神経内科病棟へのリハビリテーション技師の専従配置
	がんのリハビリテーション研修参加(1チーム4名)	がんのリハビリテーション研修参加(1チーム4名)	がんのリハビリテーション研修参加(1チーム4名)	
計画達成状況及び達成見込み				

整理番号	D0104	診療科（部署）名	臨床検査部（中央診療部門）	
取組方策	臨床検査の技術向上			
取組内容	チーム医療に貢献する質の高い臨床検査体制を構築するため、専門性の高い人材や各種検査に全般的に対応できる人材を育成する。			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	チーム医療(診療等)に貢献する臨床検査技師の育成			→
	様々な検査に対応できる臨床検査技師の育成			→
計画達成状況及び達成見込み				

整理番号	D0105	診療科（部署）名	病理部（中央診療部門）		
取組方策	病理診断機能の充実・強化				
取組内容	病理診断の迅速化、正確性や精度の向上を図るため、迅速細胞診を導入するとともに、病理システムを改良する。 ア 迅速細胞診の導入 イ 病理システムへのインシデント防止対策機能の追加				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ア	現状調査	迅速細胞診の導入準備	迅速細胞診の導入	効果検証
	イ	臨床検査技師(1名)の配置検討(がんゲノム医療への対応を兼ねる)	細胞検査士資格取得		
		病理システムの機能充実にに向けた検討	病理システム改良	効果検証	
計画達成状況及び達成見込み					

整理番号	D0106	診療科（部署）名	輸血・細胞治療部（中央診療部）		
取組方策	細胞治療に関する幹細胞の管理体制の充実・強化				
取組内容	安全で品質管理した細胞治療を推進するため、細胞調整・保管を担う検査技師（細胞治療認定管理士）を育成する。				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	細胞治療認定管理士育成			(資格取得1名)	(資格取得1名) →
	細胞治療の支援				→
計画達成状況及び達成見込み					

整理番号	D0107	診療科（部署）名	薬剤部（中央診療部門）		
取組方策	薬剤業務の機能強化				
取組内容	<p>薬物療法の安全性向上と医薬品の適正使用を図るため、薬剤師を全病棟へ配置するとともに、各種専門薬剤師を育成する。</p> <p>ア 薬剤師の計画的な育成 イ 病棟薬剤業務実施加算の算定</p>				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ア	<p>感染制御認定薬剤師(1名)</p> <p>栄養サポートチーム専門療法士(1名)</p>	<p>外来がん治療認定薬剤師(1名)</p> <p>糖尿病療養指導士(1名)</p>	<p>がん薬物療法認定薬剤師(1名)</p> <p>HIV感染症薬物療法認定薬剤師(1名)</p> <p>日本褥瘡学会認定師(1名)</p>	<p>緩和薬物療法認定薬剤師(1名)</p>
	イ	<p>薬剤師(3名)の配置検討</p> <p>病棟薬剤業務実施加算算定</p>			
計画達成状況及び達成見込み					

整理番号	D0108	診療科（部署）名	栄養管理部（中央診療部門）		
取組方策	栄養管理業務の充実・強化				
取組内容	<p>入院から退院まで切れ目のない栄養管理を推進するため、栄養管理業務の充実・強化を図る。</p> <p>ア 栄養管理体制（栄養サポート）の強化及び充実 イ がん領域における栄養療法の推進と緩和ケアチーム活動の充実 ウ 地域包括ケアに対応した栄養管理業務の構築</p>				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ア	<p>栄養状態の適切な把握と評価に基づく栄養管理の実施</p>	<p>外来受診時から手術に備える栄養管理体制を整備</p>		
	イ	<p>管理栄養士(1名)の配置検討</p> <p>緩和ケアチーム活動を含むがん治療における栄養療法の推進</p>			
ウ	<p>地域包括ケアに対応した栄養管理業務の実施</p>	<p>管理栄養士(1名)の配置検討</p>			
計画達成状況及び達成見込み					

整理番号	D0109	診療科（部署）名	看護部			
取組方策	看護体制の強化					
取組内容	<p>安全で質の高い看護を提供するため、7対1看護体制の維持及び夜間の看護体制の充実を図るとともに、計画的に専門・認定看護師等を育成する。</p> <p>ア 看護体制の充実 イ 認定看護管理者、専門看護師及び認定看護師の計画的な育成</p>					
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
	ア	急性期一般入院料1 (7対1看護)の維持				→
		夜間看護体制の充実 (12対1看護)に向けた 検討				→
		看護補助者(看護助手 17名)の配置				
		夜間100対1急性期看護 補助体制加算の取得				→
	イ	【認定看護管理者】 ファーストレベル 8名 セカンドレベル 3名 サードレベル 1名				→
【専門看護師】各1名 放射線看護専門看護師				急性・重症患者看護専門看護師	→	
	【認定看護師】各1名 がん化学療法認定看護師 皮膚・排泄ケア認定看護師 手術看護認定看護師	摂食・嚥下障害看護認定看護師 集中ケア認定看護師 糖尿病看護認定看護師	認知症看護認定看護師 皮膚・排泄ケア認定看護師 緩和ケア認定看護師	感染管理認定看護師 集中ケア認定看護師 手術看護認定看護師		
計画達成状況 及び達成見込み						

整理番号	D0201	診療科（部署）名	運営部経営企画室、総務課、医事第一課		
取組方策	職員の業務負担軽減と労務管理				
取組内容	<p>医師及び看護師等の負担軽減及び処遇改善のための計画を策定し、タスクシフティング等による適切な負担軽減策と労務管理を実施し、医師及び看護師等の医療従事者が専門能力を発揮できる環境を整備する。</p> <p>ア 医師及び看護職員等負担軽減等計画の策定と取組の実施 イ システムを活用した適切な労務管理の実施</p>				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ア	医師及び看護職員等負担軽減等計画の策定と評価・見直しの実施			→
		外来縮小や時間外勤務縮減に向けた検討			→
	イ	システムを活用した適切な労務管理の実施			→
計画達成状況及び達成見込み					

整理番号	D0202	診療科（部署）名	運営部情報管理課		
取組方策	ICTを活用した業務負担軽減				
取組内容	<p>ICTを活用した業務負担軽減策について、費用対効果を検討したうえで導入する。</p> <p>ア 音声・ゼスチャ入力デバイスの活用検討（看護記録などの文書作成業務の負担軽減策） イ RPA（Robotics Process Automation）の導入検討（単純事務作業の自動化） ウ 看護職員の動線分析の検討（動線分析によるケアの質の向上や労働環境の改善）</p>				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ア	デバイスの試験導入と効果検証（活用業務の整理）	（臨床での試験導入）	本格導入の検討	→
	イ	RPAの試験導入と効果検証（運営部での試験導入と効果検証）	本格導入の検討		→
	ウ	動線分析システムの試験導入と分析の実施	本格導入の検討		→
計画達成状況及び達成見込み					

整理番号	D0203	診療科（部署）名	「医療の質」総合管理センター	
取組方策	職員が自発的かつ継続的に業務改善に取り組む仕組みづくり			
取組内容	職員満足度の向上のため、医療クオリティマネージャーのマネジメントにより、職員自らが勤務環境を改善しようとする意識の醸成を図る。			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	職員満足度に関する現状分析 医療クオリティマネージャーによるヒアリングと業務改善の活動支援			
計画達成状況及び達成見込み				

整理番号	D0204	診療科（部署）名	血液内科（がん診療センター）	
取組方策	多職種連携による移植医療の効率化			
取組内容	血液疾患に対する診療の量的・質的改善を図るため、多職種連携による効率的な診療を実施する体制を構築（造血幹細胞移植包括支援室（仮称）を設置）するとともに、医療従事者のライフステージ（出産・育児等）に応じた働き方を選択できるモデルを検討する。 ア 造血幹細胞移植包括支援室（仮称）の設置 イ ライフステージに応じた働き方を選択できる体制整備			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ア 造血幹細胞移植包括支援室（仮称）の設置			
	イ 院内環境・体勢の整備		弘前大学との連携体制の構築	広域の医療機関との連携体制の構築
計画達成状況及び達成見込み				

整理番号	D0205	診療科（部署）名	臨床検査部（中央診療部門）	
取組方策	臨床検査業務の効率化			
取組内容	夜間の検体検査業務の効率化を図るため、検査業務の集約化と検査項目の見直し・統一を行う。			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	検体検査室への集約化 検査項目の見直し・統一			
計画達成状況及び達成見込み				

整理番号	D0206	診療科（部署）名	中央材料部（中央診療部門）	
取組方策	滅菌業務の集約化			
取組内容	臨床現場の省力化と安全性の確保を図るため、滅菌業務を中央材料部に集約化し、安全な医療機材の提供体制を構築する。			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	一般病棟からの依頼滅菌物の調査 中央材料部での洗浄・滅菌業務の拡大(可能な部署・部門から受け入れ拡大)	外来部門の依頼滅菌物の調査	手術部使用器械の在庫調査及びデータ化	手術器械管理システムの導入
計画達成状況及び達成見込み				

整理番号	D0207	診療科（部署）名	中央採血部（中央診療部門）	
取組方策	採血業務の改善			
取組内容	採血待ち時間の短縮及び採血に係る病棟・臨床検査部の業務改善を図るため、業務の見直し及び採血管準備装置を活用した業務改善を検討する。			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	採血待ち時間短縮策の検討			→
	採血管準備装置による検体採取の効率化	電子カルテ導入に合わせたシステムの更新		
計画達成状況及び達成見込み				

整理番号	D0208	診療科（部署）名	運営部総務課、経理課、管理課	
取組方策	中央病院とつくしが丘病院の運営業務の一体的処理の拡大			
取組内容	病院局の運営業務の効率化を図るため、中央病院とつくしが丘病院の運営業務の一体的処理の拡大を検討・実施する。 ア 物品等の共同調達・契約業務の一体的処理 イ 予算編成・決算・支払業務の一体的処理 ウ コメディカル分野の一体的運営			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ア 物品等の共同調達の検討・実施			→
	イ 予算編成・決算取りまとめ・支払業務の一体的処理の検討	予算編成業務の一体的処理の実施	決算取りまとめ業務の一体的処理の実施	支払業務の一体的処理の実施
	ウ 薬剤・放射線・臨床検査業務等の一体的運営の検討	実施可能な業務から一体的運営の実施		→
計画達成状況及び達成見込み				

整理番号	D0209	診療科（部署）名	運営部情報管理課		
取組方策	情報ネットワークシステムの充実・強化				
取組内容	<p>院内の情報システムやネットワーク基盤で発生する医療情報の効率的な利用と管理を図るため、電子カルテ等基幹システムを計画的に更新するとともに、ネットワークを活用した診療行為や各種業務の効率化、情報セキュリティの強化について、費用対効果を検討のうえ推進する。</p> <p>ア 電子カルテ等基幹システムの更新 イ ネットワークを活用した診療・業務の効率化に向けた検討 ウ 情報セキュリティの強化に向けた検討</p>				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ア	電子カルテ等基幹システム更新	→	電子カルテ等基幹システムの本格運用	
		つくしが丘病院との一部システム共同利用	つくしが丘病院との放射線画像システム連携		
		中央病院とつくしが丘病院相互のデータバックアップの開始			→
	イ	オンラインカンファレンス・診察システムの導入検討	オンラインカンファレンス・診察システムの試験導入	本格導入の検討	→
		情報共有基盤強化策の検討(スマートデバイス、ペーパーレス会議等)	情報共有基盤強化策の試験導入	本格導入の検討	→
ウ	セキュリティ監視サービスの導入検討	セキュリティ監視サービスの試験導入と効果検証	本格導入の検討	→	
		2要素認証システムの試験導入と効果検証	本格導入の検討	→	
計画達成状況及び達成見込み					

E 経営基盤の強化

整理番号	E0101	診療科（部署）名	運営部経営企画室	
取組方策	経営マネジメントの強化			
取組内容	安定した病院経営を継続するため、経営上の問題・課題の抽出や改善事項の進捗管理など、経営判断に資する指標等を標準化した経営マネジメントによる効率的な経営管理を行う。			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	標準化された経営マネジメントによる経営管理の実施			→
	経営課題等の検討・明確化			→
	各種会議等を活用した経営課題の情報発信と担当部署に対する対策実施の依頼			→
計画達成状況及び達成見込み				

整理番号	E0102	診療科（部署）名	運営部医事第一課	
取組方策	未収金対策の強化			
取組内容	未収金の未然防止及び早期納入のための取組を一層強化するとともに、悪質な未納者に対しては、法的措置等を講じて未収金の解消に努める。			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	未然防止の取組実施			→
	早期納入等の取組強化			→
	悪質な未納者に対する法的措置の実施			→
	検討会の開催、回収困難な未収金の不納欠損処理			→
民法改正に伴う未収金対策に係る取組の改定				
計画達成状況及び達成見込み				

整理番号	E0103	診療科（部署）名	運営部経営企画室、管理課、医事第一課			
取組方策	収益確保・経費節減による経営基盤の強化					
取組内容	<p>収益性の維持・向上を図るため、DPC（診断群分類包括評価）における各種係数の新規取得・向上に取り組む。</p> <p>また、材料費（薬品費と衛生材料を含む診療材料費）の節減を図るため、業者間の適正な競争を促しつつ、契約手法の見直しや物品管理の強化、職員のコスト意識の醸成等に取り組む。</p> <p>ア 収益確保の取組 イ 経費節減の取組</p>					
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
	ア	DPC特定病院群(旧II群)病院の維持				→
		機能評価係数Ⅰの取得・維持と機能評価係数Ⅱの向上に向けた取組				→
	イ	情報の収集と業者間の競争の促進及び新たな契約方法の導入検討				→
		在庫管理の徹底及び品目数の抑制と集約化				→
専門知識を持つ職員の育成及び職員全員のコスト意識の醸成					→	
計画達成状況及び達成見込み						

整理番号	E0201	診療科（部署）名	運営部経営企画室			
取組方策	広報・情報発信の充実・強化					
取組内容	<p>開かれた県立病院、信頼される県立病院、魅力ある県立病院を積極的にPRするため、ホームページの充実や多様な広報媒体の活用などに努め、患者・医療機関など対象に合わせた効果的な情報を戦略的に発信する。</p>					
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
		患者向けの効果的かつ戦略的な情報発信				→
		医療関係者向けの効果的かつ戦略的な情報発信				→
		院内職員向けの広報体制の整備・充実				→
		けんみん公開講座の開催				→
計画達成状況及び達成見込み						

整理番号	E0301	診療科（部署）名	運営部管理課	
取組方策	公舎等財産の利活用促進			
取組内容	職員公舎の効率的な確保と運用を図るため、県有公舎の共同利用等を検討するとともに、入居が見込まれない公舎は売却を進める。 また、患者等来院者や職員の駐車場確保に向けた取組を推進する。			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	県有公舎の共同利用や民間アパート等の借り上げの検討			→
	駐車場の確保に向けた取組			→
計画達成状況及び達成見込み				

整理番号	E0302	診療科（部署）名	運営部管理課	
取組方策	施設の効果的・効率的活用の推進			
取組内容	医療環境の変化に適切に対応するため、定期的に施設安全管理計画を策定し、施設の有効活用について検討するとともに、院舎・施設の長寿命化に取り組む。			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	院舎スペースや敷地の有効活用の推進			→
	施設・設備の長寿命化の推進			→
計画達成状況及び達成見込み				

整理番号	E0303	診療科（部署）名	運営部管理課	
取組方策	施設の省エネ対策の推進			
取組内容	経済性と環境保全の観点から、電力・紙・燃料等の使用量の削減、グリーン購入（環境に配慮した製品の購入）、太陽光発電をはじめとする新たなクリーンエネルギーの導入等を推進する。			
年度別計画	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	検討・実施			→
計画達成状況及び達成見込み				

整理番号	E0401	診療科（部署）名	運営部経営企画室			
取組方策	地域医療構想等の推進					
取組内容	<p>地域医療構想で求められている全県を視野に入れた高度急性期病院としての役割に適切に対応することにより、同構想が目指す医療提供体制の構築を推進するとともに、県立中央病院将来構想の実現に向けた検討を進める。</p> <p>ア 高度急性期病院としての機能強化 イ 関係機関との連携強化 ウ 将来構想の実現に向けた検討</p>					
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
	ア	高度・専門・政策医療の充実				→
		医師等の医療従事者の育成				→
		地域医療の支援				→
	イ	医療・介護との連携方策の検討				→
		回復期病院との連携方策の検討				→
		その他の連携方策の検討（地域医療連携推進法人設立に係る検討）				→
	ウ	将来構想の実現に向けた検討				→
						→
	計画達成状況及び達成見込み					

F 多職種による質の高い入院医療の提供

整理番号	F0101	診療科（部署）名	つくしが丘病院		
取組方策	医療スタッフの量・質の充実				
取組内容	入院患者が安心して療養生活を送ることができる体制を構築するため、医療従事者の確保・育成を図る。 ア 精神科医師の増員 イ 精神保健指定医の育成 ウ 日本精神医学会認定栄養士の育成 エ 常勤作業療法士の配置（県立中央病院からの応援体制の構築）				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ア			精神科医師(1名)の確保(累計8名)	
	イ	精神保健指定医研修会参加(2名)		精神保健指定医研修会参加(1名)	
	ウ	教育研修(STANDARDコース)申し込み	認定栄養士研修会受講	教育研修(STANDARDコース)受講	
	エ	作業療法士配置に係る中央病院との連携(現員3名)			
計画達成状況及び達成見込み					

整理番号	F0102	診療科（部署）名	つくしが丘病院		
取組方策	専門性の高い医療従事者の育成				
取組内容	県立精神科病院として求められる機能を発揮するため、優秀な医療従事者を育成するとともに、精神科専門医養成病院（弘前大学医学部附属病院）の連携施設としての役割を継続的に担う。 ア 医療従事者を目指す学生の研修受け入れ イ 新たな専門医制度の研修受け入れ				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ア	看護師 106名 精神保健福祉士 10名 作業療法士 2名 管理栄養士 1名			
	イ	研修医受け入れ 1名			
計画達成状況及び達成見込み					

整理番号	F0201	診療科（部署）名	つくしが丘病院		
取組方策	医療安全対策の強化				
取組内容	入院中の事故防止や院内感染防止など医療安全対策のため、人員の確保・育成を図る。 ア インфекションコントロールドクターの育成等 イ CVPPP（包括的暴力防止プログラム）トレーナーの育成 ウ 医療安全管理者の育成 エ 全病棟夜勤3名体制の構築に向けた検討				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ア	インフェクションコントロールドクター研修参加(1名)	感染管理認定看護師育成(1名)		
	イ	CVPPPトレーナー養成(2名)			→
	ウ	医療安全管理者研修参加(1名)			→
		医療安全管理者配置(1名)			→
	エ	A病棟夜勤3名体制の構築に向けた検討			→
計画達成状況及び達成見込み					

整理番号	F0202	診療科（部署）名	つくしが丘病院		
取組方策	計画的退院支援の強化				
取組内容	退院後の生活に係る患者・家族の不安解消や受入先確保のため、医療連携室の相談・支援機能を十分に発揮するとともに、病棟による退院先訪問指導を積極的に進める。また、入院患者の計画的な退院を促進するため、クリティカルパスの活用を図る。 ア 急性期の患者における3ヶ月以内の退院促進 イ 急性期以外の患者における1年以内の退院促進 ウ 退院前訪問指導の推進 エ 長期（5年超）入院患者の退院促進				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ア	退院率60%以上			→
	イ	退院率90%以上			→
	ウ	退院前訪問指導延べ92件	退院前訪問指導延べ94件	退院前訪問指導延べ96件	退院前訪問指導延べ98件
	エ	長期入院患者の退院者数1名			→
計画達成状況及び達成見込み					

整理番号	F0203	診療科（部署）名	つくしが丘病院		
取組方策	多職種チーム医療の推進				
取組内容	入院患者が退院後も円滑に地域生活を送ることができるようにするため、多職種連携による精神科医療を推進する。 ア 長期入院患者に対するGAF（機能の全体的評定尺度）評価の実施 イ クリティカルパスを活用した標準的多職種チーム医療の推進 ウ 栄養食事指導体制の充実 エ 服薬支援の推進 オ 入退院支援における関係機関との連携強化（情報共有シートの整備）				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ア	1年以上の入院患者に対する評価の実施			→
	イ	クリティカルパス委員会の設置			
		クリティカルパスの実践に向けた研修会参加			→
	ウ	患者・医療従事者への情報提供			→
		栄養食事指導の実施（24件（2件×12月））			→
エ	服薬指導の実施（延べ150件）			→	
オ	情報共有シートによる情報共有体制の検討	情報共有シートの運用・見直し			→
計画達成状況及び達成見込み					

整理番号	F0204	診療科（部署）名	つくしが丘病院		
取組方策	精神科救急入院料の算定				
取組内容	つくしが丘病院の経営の安定化を図りつつ、精神科救急医療圏における基幹病院としての役割を強化するため、重症の急性期精神疾患患者を多く受け入れる精神科救急入院料を取得する。				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		精神科救急入院料1の算定			→
		精神保健福祉士（1名）の配置検討			
計画達成状況及び達成見込み					

G 多職種・施設間連携による外来医療や訪問支援の展開

整理番号	G0101	診療科（部署）名	つくしが丘病院		
取組方策	在宅支援の強化				
取組内容	患者の療養生活をサポートするため、多職種連携によるアウトリーチ（訪問支援）や家族等を対象とした心理教育などの在宅支援を強化する。 ア 訪問看護ステーションの設置 イ 家族心理教育の充実 ウ 精神科在宅患者支援管理料の段階的取得				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ア	訪問看護ステーション設置・訪問診療実施（訪問看護年2800件）	（訪問看護年3400件）	（訪問看護年3500件）	（訪問看護年3600件）
		看護師（1名）の配置検討	看護師（1名）の配置検討		
	イ	心理教育の実施延べ75人（15人×5回）			
	ウ	精神科在宅看護支援管理料の算定拡大（月2件程度）	（月4件程度）	（月6件程度）	（月8件程度）
計画達成状況及び達成見込み					

整理番号	G0102	診療科（部署）名	つくしが丘病院			
取組方策	多様な精神疾患患者への対応					
取組内容	児童青年期精神疾患、認知症など多様な精神疾患へ対応するため、専門医師や看護師を確保するとともに、集団精神療法の充実、精神疾患・認知症に関する相談窓口の開設、地域の関係機関との連携強化に取り組む。 ア 認知症サポート医の育成 イ 集団精神療法への参加促進 ウ 認定看護師の活用（心の相談窓口の開設） エ 認知症看護認定看護師の育成 オ 認知症疾患医療センターの役割遂行及び連携強化					
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
	ア	認知症サポート医養成 研修参加(1名)		認知症サポート医養成 研修参加(1名)		
	イ	集団精神療法参加延べ 80名		集団精神療法参加延べ 90名	→	
	ウ	相談・生活指導の実施 (230件)	(240件)	(250件)	(250件)	→
		認定看護師フォロー アップ研修参加				→
	エ			認知症看護認定看護師 育成(1名)		
	オ	認知症疾患医療連携協 議会の開催				→
認知症に関する研修会 の開催					→	
計画達成状況 及び達成見込み						

整理番号	G0103	診療科（部署）名	つくしが丘病院		
取組方策	患者及びその家族との情報共有の推進				
取組内容	患者・家族が安心して利用できる精神科病院となるよう、提供するサービスの内容や医療実績などの情報を積極的に公開するとともに、患者・家族との診療情報の共有化を促進する。 ア 院内広報誌の内容充実 イ ホームページの内容充実 ウ 院内掲示の充実				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ア	随時見直し			→
	イ	随時見直し			→
	ウ	随時見直し			→
計画達成状況及び達成見込み					

整理番号	G0104	診療科（部署）名	つくしが丘病院		
取組方策	包括的支援の推進				
取組内容	通院患者の生活能力の向上を図るため、外来作業療法についての宣伝・周知活動のほか、多職種連携によるショートケアを推進する。 ア 外来作業療法の充実 イ ショートケアの体制整備				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ア	ポスター及びしおりによる周知活動			→
		外来作業療法参加者延べ936人	外来作業療法参加者延べ946人	外来作業療法参加者延べ956人	外来作業療法参加者延べ966人
	イ	ショートケア利用者数115日	ショートケア利用者数117人	ショートケア利用者数117人	ショートケア利用者数120人
	新規登録者獲得に向けた広報活動			→	
	参加者に合わせた専門的プログラムの作成	専門プログラム参加者延べ60人		→	
計画達成状況及び達成見込み					

H 健全経営の推進

整理番号	H0101	診療科（部署）名	つくしが丘病院		
取組方策	医業収益の確保				
取組内容	<p>入院収益については、診療報酬改定により新設される各種加算の取得、精神科リハビリテーションの充実等により増収を図る。</p> <p>外来収益については、訪問看護の推進、精神科リハビリテーションの充実、児童青年期医療の強化、認知症患者対策の推進により増収を図る。</p> <p>ア 入院患者数（入院収益）の確保</p> <p>イ 外来患者数（外来収益）の確保</p>				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ア	入院患者数 105人/日 ※稼働病床150床			→
	イ	外来患者数 120人/日			→
計画達成状況及び達成見込み					

整理番号	H0102	診療科（部署）名	つくしが丘病院		
取組方策	費用の節減				
取組内容	<p>薬品の購入価格の適正化、後発医薬品の活用、委託業務内容の見直しなどにより、費用の節減に取り組んでいくほか、今後の入院患者数の動向を見極めながら病床規模及び職員数の適正化を進める。</p> <p>ア 薬品費の対医業収益費の維持</p> <p>イ 経費の対医業収益費の維持</p>				
年度別計画		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	ア	薬品費の対医業収益費 20%			→
	イ	経費の対医業収益費 25%			→
計画達成状況及び達成見込み					

青森県病院局運営部経営企画室

青森市東造道2丁目1番1号

(県立中央病院3階)

T E L 017-726-8402・8403

F A X 017-726-8325

E-mail kenbyo@pref.aomori.lg.jp